

しものせき Port News

令和2年12月
Vol.17

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

Contents

下関港新港地区（長州出島）

国際クルーズ拠点整備事業の進捗状況
岸壁工事を通じた若手技術者の育成

下関港海岸

新川水門の工事の進捗
宮崎地区護岸の水理実験

トピックス

インフラツーリズム見学会の開催
リフレッシュ瀬戸内 海岸清掃に参加しました
港湾保安設備の合同点検を実施しました



新港地区国際クルーズ拠点整備事業が進捗（長州出島）
令和2年12月撮影

下関港新港地区（長州出島）

国際クルーズ拠点整備事業の進捗状況

令和元年に始まった国際クルーズ拠点整備事業では、国がクルーズ専用岸壁を整備しています。

計画延長380mのうち、12月までに120mの岸壁を延伸し、既設部と合わせて、約210mが概成しました。

また、下関市による岸壁背後のふ頭用地の埋立工事や地盤改良も順調に進んでいます。

更に岸壁を延伸するため、現在、長州出島内の作業基地においてケーソン製作を、海上において岸壁の築造工事を進めます。



▲ケーソン製作工事

鉄筋コンクリートの箱状構造物を6函製作中。
(1函当り:長さ19.8m、幅8.2m、高さ14m、重さ約1,000t)

岸壁築造工事▶

ケーソンを設置する頑丈な地盤を構築するため、グラブ浚渫船により海底部を掘っています。また、掘削した海底土砂はリクレーマ船により岸壁背後のふ頭用地に埋め立てます。



[国際クルーズ拠点整備事業]



[岸壁築造工事]

岸壁工事を通じた若手技術者の育成

本事業では、長州出島内でのケーソン製作・据付け、大型作業船を用いた浚渫・埋立工事を行っており、港湾工事のダイナミックさ・魅力を肌で感じることができます。

このため、インターンシップ生の実習や現場見学会の開催など、地域の人材育成や若手技術者の育成の場として活用されています。



11月19日:建設会社による地元高校生のインターンシップ受入れ



11月30日:関門地域の若手職員の現場見学会を実施

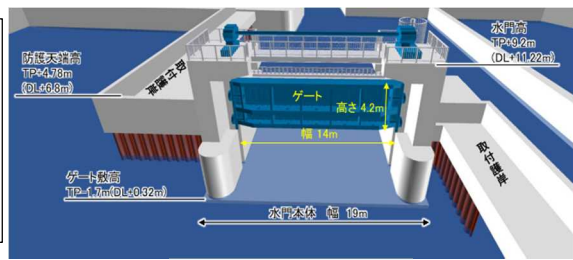
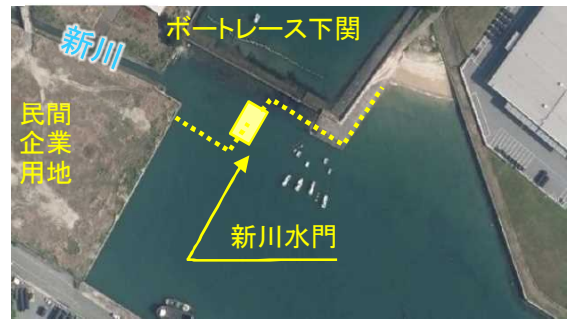
下関港海岸

新川水門の工事の進捗

下関市長府地区の新川河口では、高潮による氾濫を防ぐとともに、河川への海水流入を制御するための水門設置工事を行っています。

水門を設置するには、水が入ってこない状態で施工する必要がありますため周囲に鋼管矢板を打設しました。

今後は囲いの中の水を抜き、水門本体の工事を開始する予定です。



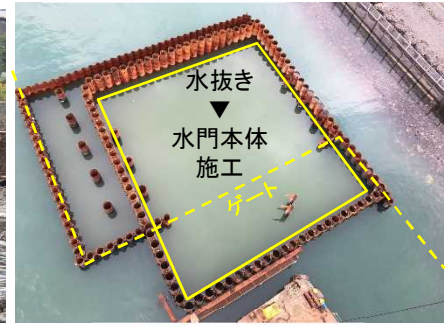
水門完成イメージ



鋼管矢板を固い地盤に所定の深さまで打ち込むため、先行して削孔した上で、パイプロハンマ（振動式杭打機）により打設します。



打ち止め確認状況



打設完了(12月3日)

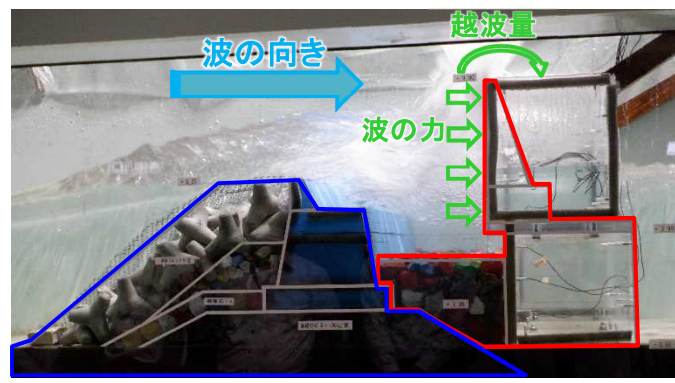
鋼管矢板打設状況(7月20日)

宮崎地区護岸の水理実験

宮崎水門は、長府地区の壇具川河口と宮崎船だまりの前面に計画しています。

水門につながる護岸は、既設防波堤を活かしつつ、背後に新たに設置する複雑な構造となっています。

このため、九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所の実験場にて、実物の25分の1の断面模型で再現し、水理実験により護岸機能の確認を行い、設計に反映します。



既設防波堤 新設護岸

▲水理実験:新設護岸前面にかかる波の力、護岸背後へ越波する海水の量を計測します。



長水路:約40m先から波を発生させ、対象となる構造物に波を当てます。

トピックス

インフラツーリズム見学会の開催

九州地方整備局では、9月29日、(一社)日本旅行業協会九州事務局(総勢18名)を招いて関門地域の港湾施設を巡るインフラツーリズム※1見学会を開催しました。

まず、関門海峡ミュージアムや門司港レトロ地区を見て回った後、船に乗って太刀浦コンテナターミナル、浚渫兼油回収船「海翔丸」、下関港海岸の工事現場、唐戸地区などを見学しました。

その後、ツアー商品化に向けた意見交換会を実施し、参加者からは、「専門用語の説明は難しいので、歴史など興味を惹くストーリーが重要」、「修学旅行や社会科見学に活用できる」などの意見がありました。



乗船して関門地域のインフラを見学

※1インフラツーリズム:生活を支えるダム、橋梁や港湾などの特長あるインフラを地域の観光資源として活用し、地域の活性化を目指す取り組み

リフレッシュ瀬戸内 海岸清掃に参加しました

10月25日、下関市長府宮崎町地先の御船手海岸で行われた「リフレッシュ瀬戸内※2」海岸清掃に参加しました。

この活動は、下関市では平成5年に開始され今回で27回目。清掃活動には、地域住民の方々をはじめ、下関港湾協会、下関港運協会、下関海の日協賛会などの関係者、下関市、国職員など総勢約200名が参加しました。

参加者からは、「ゴミを細かく分類して回収されている。プラスチックゴミが多くなってきたと感じる。」等のコメントがありました。

美しい海岸づくりのために今後もこの活動を続けて参ります。

※2リフレッシュ瀬戸内:瀬戸内海沿岸の107市町村、11府県、国土交通省9地方機関から成る「瀬戸内・海の路ネットワーク」の環境事業の一環として、海浜の清掃活動を通じて美しい瀬戸内を守っていくことを目的に平成5年より実施



瓶・缶など不燃物、プラゴミ、流木など約4トンを回収

港湾保安設備の合同点検を実施しました

11月27日、関門港(下関港、北九州港)におけるテロ対策などの保安対策の一層の強化を図るため、下関市長州出島の新港地区国際物流ターミナルにおいて、海上保安部、警察、港湾管理者などの14機関が集まり港湾保安設備の合同点検を行いました。

まず、参加者全員で出入管理状況、ソーラスフェンスの目視、各種機器の作動状況の確認を行い、その後意見交換を行いました。

各機関の様々な観点から寄せられた指摘や知見をもとに、港湾保安対策の一層の強化に取り組んで参ります。



ソーラスフェンスの目視点検



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL(083)266-3291 FAX(083)261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間:9:30~12:00&13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

